

# 飯山さくら祭り限定 糎て飯定食 2,080円



このコースは食事のみ2時間です

か めし  
糎て飯の昼食は (糎て飯、田螺と小鉢、鮎コロッケと生野菜、お刺身、茶碗蒸し、よもぎうどん、デザート付き)

糎て飯とは、食糧難のときにお米が少量でもほかのものと混ぜて炊くことにより

空腹を満たすための食料です。

一言知識(元禄の飢饉)

元禄年間(1688~1704)の間は凶作・不作が頻発し、特に元禄8年(1695)と15年(1702)は大凶作となり、それぞれ数万人もの飢死者が出たと伝えられています。元禄8年は土用中(7月下旬~8月上旬)に霜が降るほどの冷夏となり、当時の平均収量の3割しか米が採れませんでした。江戸時代の平均的な10a当たり収量は190k前後といわれていますので、実に10a当たり1俵(60k)程度の収穫しか無かったこととなります。

(現在では10a当たりの平均収穫量は8俵「480k」~9俵「540k」)《 10a=約1反です・・1反=約300坪です・・300坪=約1000㎡ 》